

Family

令和2年9月号
小野市立河合中学校舎
8. 31

「動く」

教頭 吉岡 秀晃

今までで一番短い9日間の夏休み、みなさんはどう過ごしましたか？心と体をゆっくり休めることはできたでしょうか。あっという間に2学期がスタートしましたが、猛暑に負けず子どもたちはよく頑張っています。

振り返ってみると、この2月から新型コロナウイルス感染症が流行し、人々の生活は一変しました。学校生活も例外ではありません。

2学期も例年のような学校行事を行うことは難しいでしょう。もちろん学校においては、「窓を開ける・マスクの着用・消毒」といったウイルス対策を継続しています。感染防止のためには中止すればいいという意見もあるかもしれませんが、しかし、学校行事は他者と共創して子どもたちが心身とも成長するための大切な機会です。今、学校生活で行っている対策を徹底しながら、「この状況の中で何かできないか」「どんな工夫をすればできるのか」など、規模縮小も含めて子どもたちと考えるながら、そして状況を見極めながら取り組んでいきたいと思えます。保護者の方、地域の方にもご理解とご協力をしていただければありがたいと存じます。

今年の24時間テレビのテーマは、「動く」でした。新型コロナウイルスにより「できない」とあきらめるのではなく、この状況下で「どんなことができるのか」「どのようにすれば」と考えて動いていくことを私たちも試されているような気がします。

今こそ児童生徒会のスローガン「新維進」が試されるときかもしれません。

今年の河合小中生なら、この逆境をみんなで乗り越えていけるような気がします。

9月1日には9年生が修学旅行に、9月17日には6年生が発見旅行に出発します。検温・消毒・マスク・バスの中や食事中はしゃべらないなど、どんなことに気をつけて対策をしていったらいいのかを子どもたちと何回も議論を重ねながら進めてきました。保護者の方においては、不安もあることと思えます。そのような中でも温かく子どもたちを支えていただいていることに感謝いたします。

この旅行を通して更に成長してくれることでしょう。また、たくましくなった姿を楽しみにしたいと思います。

～授業づくり～

悩む楽しさ。河合中学校の授業研究の中で、多くの教師が味わっているものです。簡単に出ない答えだからこそ、それに向き合うことは苦しい、でもそこを乗り越えるために考えることを大切にしています。

その「悩む楽しさ」を生徒たちが味わっている場面がありました。9年生の英語の少人数クラスの授業で、後置修飾という文法事項を学習した時のことです。この表現の習得により、言語レベルを一段階レベルアップさせることができるのですが、それだけに定着させることは難しい。パターンプラクティスを繰り返すことで定着を図るのが一般的ですが、先日の授業では『ウォーリーを探せ』の絵本を用いて、そこから表現するという活動を取り入れました。生徒たちは楽しみながらも適切な表現や言葉を探すことに苦労したようでした。しかし、なかなかたどり着けないゴールに向かって主体的に取り組む姿勢が見られました。

この授業から我々は学習の定着に必要なのは、「量か質か」という問題提起を得たような気がします。

中国の思想家・孔子の言葉に「学びて時に之を習ふ。亦た悦ばしからずや。」というものがあります。学んだことを繰り返し復習・練習しそれが身についていくことはうれしいものだ、という意味です。孔子の言うとおり、学習において復習の大切さはまぎれもない事実です。しかし、反復だけでなく、まず学習事項と出会った時にインパクトや面白みを得たかどうか、それを理解する過程で悩んだかどうか定着には大切なかもしれません。孔子の別の言葉に「何かについてよく知る者は、それを好む者には及ばない。好む者は楽しむ者には及ばない」という意味の言葉があります。教師と子どもたちが一体となって「悩む楽しさ」を味わっていけるよう、日々授業づくりに邁進したいと思っています。

～文化づくり～

2学期には大きな行事がたくさん予定されています。9月には9年生は修学旅行、6年生は発見旅行が予定されており、仲間とともに校外で様々な体験的な学習を行います。10月には小中合同体育祭があります。例年は1学期に行う行事ですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、日程・内容を変更しての実施となります。その他、現段階で実施について検討中の行事もありますが、児童生徒の安全対策を行った上で、児童生徒が自分たちの成長を感じられる、思い出に残るような行事になるように、今後も職員・児童生徒が一体となって進めていきたいと考えています。

～人権～

職員は先日、研修を行いました。様々なことを学ばせていただきましたが、その中の1つとして、児童生徒が「自己肯定感を持つこと」や「達成感を得ること」の大切さを改めて認識させられました。本校には6～9年生が在籍し、他校よりも幅広い発達段階の違いがある中で、そのような体験をいかに児童生徒に経験させていくのかということが学校の役割であると考えさせられました。

2学期は学校行事もある予定ですが、日頃の生活の中でも児童生徒同士、児童生徒と教師の間で関わっていく中で1つでも多くの「やったー、できたー」という体験を積み重ねて児童生徒の心の成長につなげたいと思います。



【9月の予定】

- 1日(火)～3日(木) 修学旅行
- 1日(火) お魚教室(8年)
- 2日(水) おの検定(6年・計算)
- 4日(金) 振替休業日(9年)
- 4日(金) 眼科検診(7年)
- 7日(月) 専門部会
脊柱健診(7年)
- 12日(土) クリーンエコデー
- 13日(日) 予備日
- 14日(月) 内科検診(8年)
- 15日(火) 理数探究科(7年)

- 17日(木)～18日(金) 発見旅行
- 17日(木) ちくわ教室(7・8年)
- 19日(土) 草刈り隊
- 23日(水) 新人戦壮行会
- 25日(金) おの検定(789年・計算)
- 26日(土) 小野市新人戦
- 27日(日) 予備日
- 28日(月) 確認テスト(9年)
心電図(7年)
- 29日(火) 写生会(雨天決行・弁当)
- 30日(月) 内科検診(7年)

